

研究協力をお願い

昭和大学横浜市北部病院と昭和大学附属烏山病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

うつ病治療に関する薬物療法の検討

1. 研究の対象および研究対象期間

2021年6月1日から2023年3月31日までに昭和大学横浜市北部病院メンタルケアセンター病棟に入院・外来通院されていた方と昭和大学附属烏山病院に入院・外来通院されていた方が対象です。

2. 研究目的・方法

研究背景：

あらゆる治療をおこなっても、うつ病の3分の1は十分な寛解が得られないとされ、そのような難治性うつ病の患者に対するアプローチは重要な問題となっている。そのため第一選択となるような薬剤や患者の特性によって、抗うつ薬を使い分けることが必要だと考える。

本研究では、うつ症状にて抗うつ薬を内服されていた患者さんの、治療状況や効果について調査し、どのような状態の患者さんに、どのような治療やサポートが役に立つか、ということ判断できるようになることを目的としています。

調査対象：

2021年6月1日から2023年3月31日までに昭和大学横浜市北部病院メンタルケアセンター病棟に入院・外来通院されていた方と昭和大学附属烏山病院に入院・外来通院されていた方

調査項目：

患者さんの年齢や性別、生活状況、お体の病気や怪我の種類と状態、検査結果、治療の方法・効果

3. 研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2024年3月31日まで

4. 研究に用いる試料・情報の種類

診療録（カルテ）から、睡眠状態と精神症状の治療経過を調査します。

情報：病歴、向精神薬治療の治療歴、睡眠薬の治療効果、副作用等の発生状況

5．外部への試料・情報の提供

データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。
対応表は、当病院の研究責任者が保管・管理します。

6．研究組織

代表研究機関：

昭和大学横浜市北部病院 メンタルケアセンター

分担研究機関：

昭和大学附属烏山病院 精神神経科

7．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学横浜市北部病院メンタルケアセンター

氏名：沖野和磨

住所：神奈川県横浜市茅ヶ崎中央 35-1

電話番号：045-949-7000